

## 「まちの生きものしらべ」に、ご協力いただいた方からのコメント

3年間を通して、沢山のご報告をありがとうございました。  
継続してご報告くださった方から、参加の「きっかけ」や  
印象に残ったことなどを伺いました。

### お家の近くでチョウやヤモリを調べた Uさん [8才] (Uさんのお父さんより)

#### ● きっかけ

地球温暖化や外来種問題が叫ばれる昨今、生活圏内で生態系の変化を観察・記録することで視覚化し、その影響や変化を実感することに意義を感じたから。また、子供たちが身近な自然から自分なりの気づきや発見を通して、理解を深めるきっかけになればと考えた。

#### ● 調査してみた

一昨年、家族全員で見つけたヤモリは嬉しかった。子供たちの嬉しそうな顔が見られ、親子のコミュニケーションが深まったことはかけがえのない収穫になった。また生活圏の中でも、意外と生きものの種類が多いことに改めて驚かされた。

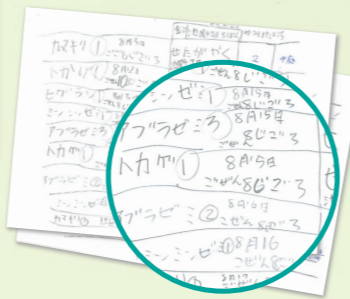
#### ● これからも…

対象種以外の自由報告や数十年前に見られた生きものとの対比にも、新たな発見・気づきがあるのではないかと考えた。この区の取り組みを継続してほしい。



▲見つけた生きものの写真を  
郵送してくださった皆さん。

▼沢山調査して、足りないシート  
の枠を書いて送ってくれました。



### アゲハを幼虫から観察した なおさん [9才]

#### ● きっかけ

学校から配られた「生きものしらべ」のチラシ。

#### ● 楽しかったこと

アゲハチョウのよう虫の かん察。

#### ● 発見!

アゲハチョウのさなぎがほかの虫に食べられていた。



### 毎年の鳥の変化を観察した チョコレート塚さん [70代]

#### ● 工夫したこと

自身の地域に対象種が少ないので、鳥やチョウを意識して観察した。

#### ● 毎年の変化

和田堀給水所(\*)は緑が多く、約15年前は年間26種類の鳥が観察できた。しかし、改修工事が始まるとモズやウグイスが去り、ここ数年でツグミ類3種も来なくなり、今では半分以下の10種ほど。カタツムリやヤモリも見かけない。\*大原にある東京都水道局の給水所

#### ● これからも…

工事終了はまだ先だが、鳥やチョウを中心に、復活を楽しみに見守りたい。



### 区内至る所で、ヤモリを探した ヤモリ坂59さん [50代]

#### ● ヤモリを調べたきっかけ

外見や仕草が可愛くて好きだったのと、  
注意して探すと人の生活近くのいたる所で出会えるから。

#### ● ヤモリを見つけるコツ

ヤモリのエサになる虫が出そうな場所に目を向けること。夏の夜の玄関灯・街灯の近く、植栽後の壁面は見つけやすく、ギザギザな壁や、樹木の幹や枝の凹凸が激しい所には少ない。

#### ● 見つけたら!

ゆっくりとまっすぐに近づくと、おどろかすことなく観察できる。

#### ● こんな場が欲しい

「生きものしらべ」の期間限定カフェを開き、生きもの好きな人同士の交流・情報交換がしたい。

#### ● これからの期待

若い人や子どもの参加が増えれば、世代交代でき長く続くと思う。



### 学校や近所でツバメの巣などを観察した かれんさん [11才]

#### ● きっかけ

学校で「生きものしらべ」のプリントがくばられて、やってみようと思った。いろいろ見つけて、つづきたいと思った。

#### ● 大変だったこと

おとうとが虫とりに行くときにやりたいことがあったけど、生きものをさがしに行ったこと。はじめたころはなかなか見つからず、やめようと思った。

#### ● 発見!

ふだん歩いている道でも、よくみるとたくさん生きものがいて、ひとつ、ひとつ場所がちがったりする。



### 3年を通してチョウや鳥を観察した 64(ムシ)さん [60代]

#### ● 身の周りの変化

数年前にオナガのエサ場だった緑地が住宅化し、群れを見かけることが減った。近くに寺社林はあるが、カラスなどの先住者に追われ、定着に苦労している。

#### ● 発見!

購入した花苗についてきたと思われる陸貝が、いつのまにかベランダの植木鉢に見られる。  
(ヒメオカモノアラガイかコウフオカモノアラガイ(絶滅危惧II類)かも?)

#### ● 昔と比べて

子どもの頃に見られた生きものがいなくなり、交通・流通の発展で国内移入種や外来種を目にすることが多くなった。

#### ● これからの期待

「まちの生きものしらべ」の参加者は小学校低学年が多いが、保護者も巻き込んで自分たちの住む環境に興味を持ってもらえるとうれしい。多くの方々がこの活動を通して、身近な自然に目を向けることで、人や生きものにやさしい環境を守り、次世代へと残していけると良い。

発行：世田谷区みどり33 推進担当部みどり政策課  
〒154-8504 世田谷区世田谷 4-21-27 電話：03-5432-2282

発行日：2020年3月

編集：一般財団法人 世田谷トラストまちづくり  
SETAGAYA TRUST & COMMUNITY DESIGN

〒155-0043 世田谷区松原6-3-5 電話：03-6379-1620 FAX：03-6379-4233



# まちの 生きものしらべ

3年間のまとめ  
2017~2019

世田谷には、どのような生きものが、どのような場所に、どのくらいいるのか?  
2017年~2019年の3年間で、みなさんから寄せられた調査報告をまとめました。



## イベントでも 実施しました!!

「生きものしらべ」は、毎年7月(夏休み)から10月にかけて行います。  
今年は、「夏の生きものさがし・生きものさがしミニツアー」や「夜の生きもの観察会」などのイベントでも、調査を実施しました。観察後は「調査シート」に、出会った生きもの・場所・数などを記録して、報告してもらいました。



場所：野川(成城四丁目付近)  
日暮れの時間、コウモリを観察



場所：ビジターセンター  
生きものアドバイザーさんの解説



場所：世田谷区民会館  
「区民まつり」でもシートを集めました

